

有志舎の新刊です。2020年11月下旬刊行

文化大革命への道

—毛沢東主義と東アジアの冷戦—

奥村 哲 著

四六判・ハードカバー・288ページ 本体価格 2,600円

中国における社会主義の実体は何だったのか？

毛沢東主義の危機意識の構造を軸に、中華人民共和国の誕生から文化大革命、そして改革開放政策までの歴史を東アジア冷戦史のなかでとらえ直す。

(目次)

序章	
第一章	中華人民共和国成立の歴史的背景
第二章	急激な社会主義体制化と指導部の対外危機意識
第三章	「戒めの鑑」としてのソ連と独自の社会主義建設
第四章	廬山会議と認識の大転換
第五章	調整政策と社会主義教育運動
第六章	激動の一九六四年—文化大革命への傾斜—
第七章	文化大革命
終章	

〈著者紹介〉奥村 哲 (おくむら さとし) : 1949年生まれ、東京都立大学名誉教授

～版元から～ 今や世界の動きに大きな影響を及ぼす大国となった中国。この国の現状について語る言説は数多いですが、歴史的視点を欠いたごく表面的なものか、近代以前の歴史と単純に結びつけ、明清あるいは古代以来の「中国的伝統」から説明しようとする傾向が多く見られます。しかし、現状は近現代の歴史過程の中でしか把握できず、とりわけ日中戦争以来の中国社会の変貌を背景にした、毛沢東時代をどう捉えるかが重要な問題になります。本書は深刻な対立状況のなか、中国政府の外交・内政の基礎にあった毛沢東らの危機意識に着目し、中華人民共和国の誕生から文化大革命、そして改革開放政策に至る過程を、東アジアの冷戦史の中で捉え直します。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	文化大革命への道 —毛沢東主義と東アジアの冷戦— 奥村 哲 著 四六判・ハードカバー、288ページ 本体価格 2,600円	中国史（現代） 国際政治
	ご担当	新刊 ISBN 978-4-908672-45-3 C1022	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様		

ご注文は (株) JRC (人文・社会科学書流通センター) へ

返品条件付注文です。

FAX : 03-3294-2177

電話 : 03-5283-2230